

野田佳彦首相は7日、尖閣諸島の国有化について「尖閣を平穏かつ安定的に管理する観点から、(島の)所有者と連絡をとりながら総合的に検討していく」と述べ、国有化する方針を正式に表明した。すでに購入を表明している東京が国固有の領土であること

都の石原慎太郎知事は同日、国有化の打診を認めたうえで、都が購入後に政府に転売するのが望ましいとの考え方を示した。

野田政権が購入を検討しているのは、魚釣島と南小島、北小島の3島。現在はいずれも無人島で個人が所有している。首相は、石原知事が地権者と接触して3

都知事「取得後に渡す」

首相、尖閣国有化方針を表明

2012年(平成24年)
7月7日
土曜日

夕刊



石原知事は7日、長島昭久首相補佐官らと都庁で6日に会い、国有化の打診を受けたと説明。記者団に「東京が取得できたら国に渡す。元々国の仕事だから意欲を持つてくれるのは結構」と述べ、都が尖閣諸島を購入後、国に譲渡する意向を表明した。

一方で石原氏は「ただの人気取り。今さらこんなことを言うのは政権が混迷しているからだろう。所有者は、人を通じて、国には売らないので安心してほしいと言われている」とも述べた。地権者の弟は7日、「国が腰を上げるのは想定内」とのコメントを出した。沖縄県の仲井真弘多知事は7日、記者団に「尖閣は、政府が元々管理している。政府が管理し、周辺の安全性が確保できれば結構。政府が保有した方がいいか、東京都がいいかと聞かれても分からない」と語った。

島の購入方針を示していることに触れ、「都の計画を把握しなければならない。所有者のいろいろな意向もあると思うので様々なレベルで(協議を)している」と述べ、都や地権者と協議していることを認めた。

一方で石原氏は「ただの人気取り。今さらこんなことを言うのは政権が混迷しているからだろう。所有者は、人を通じて、国には売らないので安心してほしいと言われている」とも述べた。地権者の弟は7日、「国が腰を上げるのは想定内」とのコメントを出した。沖縄県の仲井真弘多知事は7日、記者団に「尖閣は、政府が元々管理している。政府が管理し、周辺の安全性が確保できれば結構。政